福島のぶゆき国会日誌

＜ようやく臨時国会開会＞

全国民で一番長い夏休みを取っていた私たち国会議員にとって、ようやく 20 日から臨時国会が始まりました。

補正予算案以外の提出される予定の法案は、年末までに成立させなければならない定例の国家公務員の給与関係の法案を除けば、5 本程度です。こんなに中身のない臨時国会も滅多にありません。激動の世界情勢、続く円安・物価高の中、岸田政権も与党もいい加減仕事をする気になってほしいです。

スキャンダルに塗れ、議長としての権威も調整能力も失っていた細田博之衆議院議長がようやく辞任し、額賀福志郎先生が現行憲法下で初めて茨城県出身の三権の長に就任しました。有志の会の控室に挨拶にいらっしゃいましたので、「茨城県出身の者として嬉しく思う」とお祝いを申し述べました。細田議長が失った議長の権威を取り戻すとともに、衆議院の選挙制度改革や国会運営ルールの見直し、憲法改正案の発議など重い課題が山積しております。公平公正な舵取りを期待したいと思います。

＜臨時国会に挑む所信＞

この臨時国会に臨む私の思いを語った YouTube でご覧ください。☛

＜参議院補欠選挙応援　「党より人物」勝利＞

9 日、早朝に自宅を出て、徳島・高知選挙区の参議院補欠選挙に無所属で挑戦している広田一候補の応援に向いました。

広田候補は元々自民党の県議。でも、自民党政治への限界を感じて民主党政権前に民主党会派に加わり、何度かの落選の苦労をしながら、今回無所属で挑戦している硬骨漢。応援しないわけにはいきません。

有志の会の 4 人全員が、徳島に結集し、まずは 4 人がご指導いただいた、故仙谷由人先生の墓前に、不甲斐なさへのお詫びと必勝を誓いました。その後、つるぎ町での街頭演説からスタートし、夜の徳島市内の演説会で熱く応援演説を行ってまいりました。

やはり、徳島でも「党より人物」。21 日 20 時の時報と同時の広田候補の当確報道を見て、有志の会の 4 人で応援に行った甲斐がありました。

＜『月刊日本』に寄稿文掲載＞

独立自尊をめざし権力と闘う言論誌、『月刊日本』の 11 月号の特集「貧しくなった日本」に、「なぜ日本は没落したのか」というタイトルの論考を掲載していただきました。

【「未完の政治改革」を貫徹して自民党という価値観なき利益配分の政治システムの終止符を打てるかどうか。日本の命運はそこに懸かっています】　【我々は何よりもまず、日本独自の価値を再発見する必要があります。明治維新以来 150 年、日本は自国の外側に価値を求め、西洋の価値を「普遍的価値観」として受け入れようと努力してきました。しかし、日本の価値はどれだけ横文字を縦文字に変えても見つからない。むしろ我々は自国の内側に価値を求め、日本の価値を「普遍的価値」の次元まで鍛え上げて世界に広げなければならないのです。それでは、日本の価値とは何か。それは豊饒な自然風土と悠久の歴史の中で、我が民族が「美しい」と感じ、「正しい」と考えてきたものです】

ぜひご購入の上ご一読たまわりますと幸いです。

衆議院議員 福島伸享事務所【国会事務所】〒100-8982　東京都千代田区永田町 2-1-2　衆議院第二議員会館 419 号　☎ 03 - 3508 - 7262